

「カレントサーチ」交流会あいさつ

令和7年7月1日(火)

皆さん、こんにちは。山梨予備校の斉木です。山梨大学・山梨県立大学、そして県内各高等学校の先生方には、日頃よりたいへんお世話になっております。この場を借りて、深く感謝申し上げます。

山梨予備校で、私がささやかにおこなっている校長らしい仕事の一つは、毎月一回、HRの時間に各教室を訪問し、「応援メッセージ」という形で話をする事です。6月は、受験と受験勉強の関係について話をしました。

受験のための受験勉強。これは受験が目的で受験勉強は手段に過ぎないかのようです。しかし本当は逆の関係にある…。勉強することがまず第一であって、受験はそのための具体的な道しるべとなるもの、私はそう思っています。

昔どこかの予備校が「第一志望はゆずれない」という威勢のいいスローガンを打ち出しました。しかし結果ばかり意識していると、狭い範囲の、表面的な勉強になりかねません。受験勉強で探究する世界は、どこまで理解すれば終わり、ではなく、広がりにおいても深さにおいても無限の世界です。無限の世界を無心で探究する、そのことが結果として志望校合格に近づく道だと思います。

山梨予備校生には、高校時代にわかったつもりでいたことが実はそうではなかった、という経験をたくさんしてほしいと願っています。運にも左右されやすい合否結果ではなく、じっくり取り組む受験勉強こそが未来の君たちを支えてくれるのです、と最後にまとめ、6月の応援メッセージを締めくくりました。

生徒諸君は、「何を呑気なことを…」という印象だったかもしれません。しかし私は最も言いたいことを吐き出して気分爽快でした。皆さんもご自身のご意見を本日のような機会に遠慮せず表明してほしいと思います。そしてすっきりした気持ちで帰りましょう。本日はよろしくお願いいたします。